

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	銘苺合同会社	代表者	長堂 和男	法人・事業所の特徴	住宅地の民家をリフォームした小さな事業所であり、近所の方も訪れやすい環境である。事業所は自治会の開催するイベントに積極的に参加・協力している。事業所内の厨房で一人一人の要望や噛む力に合わせた食事を提供している。季節の行事や昔ながらの風習を、事業所イベントとして取り組み、楽しく過ごしている
事業所名	小規模多機能ホーム安岡	管理者	園田 美紀		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	1人(後日確認)	1人(後日確認)	1人	0人	2人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所自己評価の9項目と地域かかわりシートとの6項目を全て、掲示するのではなく、特に職員に意識してほしい項目にしぼって「改善計画」を掲示する。	改善計画を掲示することができず、職員に対して目標を示すことができなかった。	昨年の改善計画が達成できていないため、今年度も同様な改善計画とし、職員に改善計画を意識してもらう取り組みを行う。大きく書いたり短冊に記載すると良いのではないかな。	業務のなかで意識して欲しい「改善計画」を、事業所内の見やすい場所に掲示し、日々意識してもらう工夫をする。
B. 事業所のしつらえ・環境	事業所の庭に植えたパッションフルーツや、職員が育てているバナナが豊作だったので、今年度はご近所様におすそわけして、フルーツを通したご近所づきあいをしたい。	岡野区自治会の地域清掃の時にホーム安岡周辺を清掃してくれた方にパッションフルーツを配布したが、積極的にご近所に配布できなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ホーム安岡に初めて訪問させてもらった時には、明るく清潔感があると感じた。 窓飾りが華やかな印象を受けた。 	認知症カフェ来所時のお客様が楽しめるように、利用者様と折り紙で手作りした壁飾りや窓飾りで事業所に訪れやすくする。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の方へホーム安岡を知ってもらうために、地域包括安謝さんにホーム安岡のチラシを置いていただいたりし、地域に配布していく。	毎月発行しているホーム安岡通信を地域包括支援センター安謝さんに置いて頂き、新規利用者もご紹介頂きました。	<ul style="list-style-type: none"> 利用者様が aumentando なのは、ホーム安岡が知られつつあると思う。 訪問販売「とくしまる」さんが継続できていると良かった。 	事業所の近隣の皆さまへ半年に1回程度、事業所のチラシを配布して、気軽に挨拶や来所して頂けるように工夫する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	・利用者様毎に地域を担当している民生委員さんのお名前を把握して、交流を図る。	ホーム安岡がある地域は民生委員さんのない欠員地区になっています。利用者様毎に民生委員さんを調べることはできませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> 地域自治会の地域清掃やミニデイに参加している利用者様はいるが、全利用者様は参加できていません。 地域の気になるおじいちゃんについて、関わるできていない。 	これまで様々な情報交換を実施してきた岡野区自治会、安謝新都心自治会、銘苺新都心自治会の会員となり、スムーズに情報交換ができる関係性を維持する。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、地域のお祭りやイベント、地域包括安謝さんの研修会情報なども情報発信し、地域の情報交換の場としたい。	自治会や包括安謝さんからの情報を頂いた場合も、口頭での情報交換にとどまり、印刷物を配布するなどの取り組みができなかった。	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議では事業所の取り組みを紹介しているが、地域の心配の方等の事例検討が行われていない。 運営推進会議終了後には必ず議事録を作成し、頂いたご意見は改善につなげています。 	運営推進会議資料の「その他」の項目を「その他(地域情報等)」に変更して、資料作成時に地域情報が無いかを確し、運営推進会議で情報共有やイベント等の詳細確認を行う。
F. 事業所の防災・災害対策	事業所の水害リスクを利用者様やご家族にお知らせし、台風接近時などはご家族の判断で、利用を中止したり、早めの帰宅を検討したりできるように事前の情報を提供する。	4月に文書でホーム安岡が海拔3mの浸水危険区域であることを報告したが、大雨時に利用を中止するなどの取り組みはできなかった。	<ul style="list-style-type: none"> 避難してもトイレが使えなかったとも聞いたので、認知症の方の避難場所は事前に確認したほうが良い。 津波警報の場合には、車両での避難は限界があり、同じ建物の上層階に垂直避難するのが現実的と思われる。 	・業務継続計画(BCP)自然災害編を運営推進会議にて参加者に説明し、ご意見、改善点をお伺いする。